

日本薬局方 ブドウ糖注射液

糖液注5%「AFP」

処方箋医薬品^{注1)}

糖液注20%「AFP」

糖液注50%「AFP」

貯 法：室温保存

GLUCOSE Injection 5%「AFP」・20%「AFP」・50%「AFP」

有効期間：注5%・注20% 4年
注50% 3年

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

	注5%	注20%	注50%
承認番号	22000AMX01505	22000AMX01506	22000AMX01507
販売開始	1960年6月	1960年6月	1960年6月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

低張性脱水症の患者〔水分の過剰投与により、低張性脱水状態が進行し、症状が悪化するおそれがある。〕

3. 組成・性状**3.1 組成**

販売名	有効成分	添加剤
糖液注5%「AFP」	1アンプル（20mL）中 精製ブドウ糖（日局）1g（5 ^{w/v} %）	－
糖液注20%「AFP」	1アンプル（20mL）中 精製ブドウ糖（日局）4g（20 ^{w/v} %）	－
糖液注50%「AFP」	1アンプル（20mL）中 精製ブドウ糖（日局）10g（50 ^{w/v} %）	塩酸

3.2 製剤の性状

販売名	性状	pH （日本薬局方）	浸透圧比 （生理食塩液対比）
糖液注5%「AFP」	無色澄明の液	3.5～6.5	約1
糖液注20%「AFP」			約5
糖液注50%「AFP」			約15

4. 効能又は効果

〈糖液注5%「AFP」〉

脱水症特に水欠乏時の水補給、注射剤の溶解希釈剤
薬物・毒物中毒、肝疾患

〈糖液注20%「AFP」、糖液注50%「AFP」〉

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、注射剤の
溶解希釈剤、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エ
ネルギー補給を必要とする場合

6. 用法及び用量

〈糖液注5%「AFP」〉

水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には、通常成人1回5%液
500～1,000mLを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下と
すること。

注射剤の溶解希釈には適量を用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈糖液注20%「AFP」、糖液注50%「AFP」〉

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患
（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要と
する場合には、通常成人1回10～50%液20～500mLを静脈内
注射する。

点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下と
すること。

注射剤の溶解希釈には適量を用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

8. 重要な基本的注意

高濃度液投与の急激な中止により低血糖を起こすおそれがある。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意**9.1 合併症・既往歴等のある患者****9.1.1 カリウム欠乏傾向のある患者**

症状が悪化するおそれがある。

9.1.2 糖尿病の患者**9.1.3 尿崩症の患者**適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電
解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。**9.2 腎機能障害患者****9.2.1 腎不全の患者**

水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、
異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行
うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
大量・急速投与	電解質喪失

14. 適用上の注意**14.1 全般的な注意**

使用時には、感染に対する配慮をすること。

14.2 薬剤投与時の注意**14.2.1** 皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循
環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。**14.2.2** 高張液を投与するとき、血栓静脈炎を起こすことがある
ので、慎重に投与すること。**14.2.3** 残液は使用しないこと。**18. 薬効薬理****18.1 作用機序**

ブドウ糖は、栄養源として、熱量を供給するとともに、蛋白異化
の抑制、抗ケトン作用等を有し、生体全体の代謝に影響を与える。
これらのことから、ブドウ糖注射液は、カロリー補給、水分
補給、解毒等の目的に使用する。

19. 有効成分に関する理化学的知見

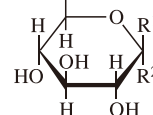
一般的名称：精製ブドウ糖（Purified Glucose）

化学名：D-Glucopyranose

分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

化学構造式：HO

 α -D-グルコピラノース：R¹=H, R²=OH β -D-グルコピラノース：R¹=OH, R²=H

性 状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。
水に溶けやすく、メタノール又はエタノール（95）
に溶けにくい。

22. 包装

〈注5%〉

20mL [50アンプル]

〈注20%〉

20mL [50アンプル]

〈注50%〉

20mL [50アンプル]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

アルフレッサ ファーマ株式会社 製品情報部
〒540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号
TEL 06-6941-0306 FAX 06-6943-8212

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

alfresa アルフレッサ ファーマ株式会社
大阪市中央区石町二丁目2番9号